

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
 U R L http://www.jaichi.jp TEL(052)916-2251
 E X - R info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

2020.10.10 No.1232

発行責任者 林 達也 定価10円
 組合員の購読料は組合費の中に含まれています

福祉削るな！福祉を金儲けにするな！
 愛知県民集会主催

秋の学習交流集会

日時：10月25日（日）10時開会
 場所：労働会館（名古屋市・金山）
 ZOOM 配信あり！先着100名
 ★お問い合わせは愛知県本部まで

秋の取り組みすすむ！

今回、土木課と下水道課の職員で組織される、「土木下水分会」の職場討議にお邪魔しました。討議では、昨年に出された要求が改善されているか、現在、疑問や困っていることはないかなど役員が丁寧にヒアリングします。

参加した組合員からは、「市民や業者など不特定多数からかかってくるのに、電話番号が表示される電話機が1台しかない」、「作業着の予備がない。夏・冬・着ずつ支給してほしい」などの職場環境の改善要求から、「技術の継承ができないので正規職員を増やしてほしい」、「うちの職場の会計年度任用職員は重要なパートを担っており、非常に優秀だが、家庭の事情などで辞めてしまう可能性もある、正規に置き換えなくてよいのか」など人員についても率直な要求が出されました。



笑顔飛び出す懇談会

長久手市では、職場環境の改善、人材育成などを目的として、全施設で「5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）」に取り組んでいます。主に製造業の生産現場における、工場改善の基本となる考え方ですが、「指摘が行き過ぎていて、やらされ感しかない」との声があります。分会では、「製

造業などは部署ごとに細分化されているが、市役所の仕事は職員が総合的に対応している。市役所の仕事のやり方とは全く相容れない」などの意見が出されました。

今後、長久手市職労では、10月中に要求書を提出、また全体学習会も11月に予定しています。



長久手市職労では、秋の取り組みで職場要求アンケートと職場オルグを行っています。20ある分会を役員と執行委員で回り、組合員の声を直接聞き取りしています。



「組合に入って良かった」と思われる取り組みを…



10月2日、碧南市職は組合事務所、本庁に勤める会計年度任用職員に向けた職員駐車場意見交換会・自治労連共済説明会を開催。会計年度任用職員6人と役員4人が参加しました。

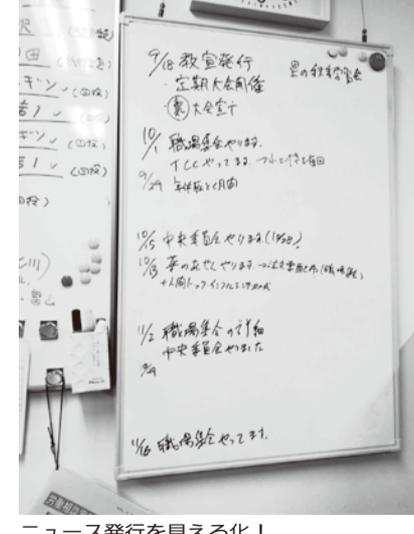
これまで、会計年度任用職員は駐車料金の負担がありませんでしたが、当局から有料となる改定案が8月に提示されました。会計年度任用職員からは、「正規並みに取られるのは納得できない、

「正規並みにとるならば処遇改善を」など続々と意見が出されました。

自治労連共済説明会では、自宅の民間火災保険を自治労連火災共済に替えたなら、同等の補償を維持したまま、年間8万円保険料が安くなったという共済加入者の実例を示すと、参加者からは「うちの火災保険より断然安い」と驚きの声が上がりました。

泉山執行委員長は、「自治労連共済の内容を知っていただくことは、組合員の暮らしを豊かにする第一歩と考えています。様々な情報を組合員全員と共有し、これからの組合に入ってよかったと思われる取り組みに力を入れていきます」と意見を話しました。

犬山市職 組合員の声をのがさず、共有！！



ニュース発行を見える化！

犬山市職労は、書面決議を活用し、9月16日に定期大会を開催、新年度の活動を進めています。コロナ禍で集まりにく

い状況から、毎週火曜日昼休みに、1回につき2つの分会の中央委員を対象に少人数の懇談に取り組みんでいます。3か月く

らいで1回りするので、継続的に四半期ごとに各職場の様子を耳にすることができると、執行部は意欲的です。また、これまでに不定期だったニュースを、月2回程度発行し教宣活動の強化をめざしています。

組合事務所内のホワイトボードに今後の発行予定を「見える化」し、コロナ禍でも知恵と工夫で組合の組織強化に足を踏み出しています。（教宣部取材）

自治労連 第42回 定期大会

住民のいのちとくらしを 守り切る社会の実現へ！



愛知の会場には、代議員31人、傍聴者10人、本部役員など44人が参加

自治労連第42回定期大会が10月3日、ウェブで開催され、運動方針案等を決定しました。

冒頭、桜井委員長は、「菅首相のめざす社会のあり方として、『まず自助だ』と公言した。コロナ感染拡大でこれまでの社会保障削減の弊害が明らかになったにも関わらず、自己責任論を強め、小さな政府をさらに推し進めようとしている。公務公共の拡充こそがこれからの社会には不可欠だ。すべての人のいのちとくらしを守り切る社会をめざそう」と力強くあいさつ。

また、全体討論では、愛知の代議員から2人の発言がありました。塩川代議員(名古屋市長)からは、「市長が進める人員削減で職場運

営に困難が生じている。また、市議会は来年4月に二つの市立病院を市立大学の付属病院とすることを強行。市長、市議会の動向を見れば、私たちの労働条件、市民のための市政を築き上げるためには政治問題は切っても切り離せない。来年4月の市長選挙は市政転換の絶好の機会。組合員の要求実現のため、政治を私たちの手を取り戻す取り組みを進めていく、橋口代議員(県本部)から



塩川代議員 (名古屋市職労)

は、「政府はAIの活用などにより公務員の数を半減する方針で、窓口業務の無人化・廃止をめざしている。窓口がなくなれば、住民は行政サービスから遠ざけられてしまう。仕事の改善・見直しは民主的自治体労働者論の立場で、住民サービスの向上と自分たちの労働条件の向上を合わせて考えることを忘れてはならない。住民にとっていい仕事を進めるために、安心して働き続けられる職場づくりをみんなが進めていこう」と発言しました。

軍事費削って、コロナ対策にまわせ！ 第24回小牧県民平和集会



市民団体・労働組合から350人参加

第24回小牧平和県民集会が、小牧市・市之久田中央公園で開催されました。望月実行委員長(春日井市職労副委員長)は、小牧基地は、F35戦闘機の整備拠点への運用を強行し、また空中給油機も4機ある。すぐにも海外へ飛び出していくかのよう。コロナ禍で国民の暮らしが大変なときに、国



名古屋市職労組合員も参加する和太鼓で開会

市民団体の代表などとも怒りの表明が続々とされ、集会の最後は、F35戦闘機整備拠点化と米軍の県営空港利用などに反対し、平和な社会をめざして奮闘することを参加者で確認し、小牧駅までパレードしました。参加した港職労の脇坂さんは「私の職場である名古屋港の軍事利用を許さない思いもあり参加しました」と話しました。

仲間の声

- 西尾市職(10月1日)
 - 委員長 松崎 真幸
 - 副委員長 柵木 史紀
 - 副委員長 村田 裕昭
 - 書記長 犬塚 隆之
 - 書記次長 駒宮 茂

★コロナの給付金でルンバを買いました。今まで3日に1回掃除機をかけていましたが、毎晩寝る前にルンバをスタートすれば翌朝には掃除が終わっており、家事の短時間になりました。職場の掃除も委託業者にお願いせず、ルンバなどで夜中に掃除するようにできないかと思っています。(太田正義・西尾市職労)

賃上げ1円なんて、ふざけるな!

最賃ビッグアクション

10月1日、最低賃金の改定や大幅引き上げ、全国一律最賃制度実現を訴える宣伝が、全国各地で展開されました。

愛知県では、名古屋駅ナナちゃん人形前で、街頭宣伝を実施。愛知の最賃金が1円アップの927円となったことを市民に周知するとともに、「たった1円なんてふざけるな」「ただちに1500円に上げろ!」と若者2人がコールをしながら訴えました。宣伝では、シールアンケートも実施。最賃は何円が良いかという設問に、31人中22人が1500円以上にシールを貼りました。



みんなの安心 自治労連共済



通行人にアンケートを呼びかける参加者

2021年版ちひろカレンダー販売中!

いわさきちひろカレンダーは、1975年から、45年にわたって核兵器廃絶と被爆者援護・連帯の輪を広げています。各地の災害地支援として、みなさんからの募金で被災地の方々に直接カレンダーを届けています。

子どもたちの未来に戦争のない、核兵器のない世界を手渡そうという願いと、子どもたちへの限りない愛を込めた、いわさきちひろさんの作品による【ちひろカレンダー】をみなさんの手から手へ、さらに多くの方へ伝え広げましょう。

- 価格 1100円 A2版・絵7枚
- 注文先 自治労連愛知県本部 FAX: 052-916-2308
- メール: info@jaichi.ne.jp

美藍・名古屋市職労) 運動会が行われます。コロナ禍で、例年と違った形ですが、当日子供たちの頑張っている姿を見るのが楽しみです。(宇佐